

# 環境活動レポート

(2017 年 10 月～2018 年 9 月)

2018 年 12 月 20 日

ヨシムラ環境整備株式会社

## 1. 組織の概要

(1) 事業者名：ヨシムラ環境整備株式会社

(2) 代表者：代表取締役 吉村 学

(3) 設立：昭和 55 年（1980 年）10 月 1 日

(4) 資本金：320 万円

(5) 所在地：

本社・工場：広島市安佐北区安佐町久地堀切山 10625 番地 10

(6) 事業内容：

産業廃棄物収集運搬及び処分業

(7) 事業の規模

①売上高および工事件数等

項 目		単 位	2017 年度
売上高		百万円	102
産業廃棄物処理量	収集・運搬	トン	1584
	中間処理	トン	1724

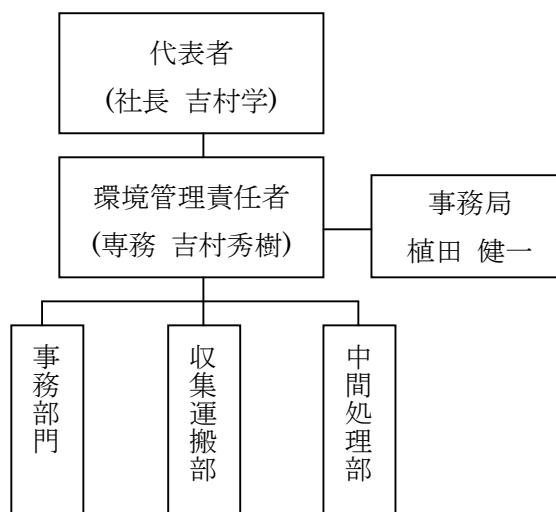
(注) 事業年度：10 月～翌年 9 月（エコアクション 21 運用年度も同じ）

②従業員数：7 人

③床面積：本社事務所 29 m<sup>2</sup>、工場・作業所等 702 m<sup>2</sup>

(8) 連絡先：環境管理責任者 吉村 秀樹（TEL:082-837-1841）

(9) 組織図



## 2. 対象範囲（認証登録範囲）

全組織・全活動を対象範囲とする。

## 3. 環境方針

本業である廃棄物処理を適正かつ安全に行うとともに、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

### 1. 環境影響に配慮した事業活動の推進

①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。

②中間処理業務における再資源化率の向上に努めます。

③節水、グリーン購入に努めます。

### 2. 法規則等の遵守

事業に関係する諸法令、規則、地域協定を順守し廃棄物の適正処理に努めます。

制定日： 2015 年 1 月 20 日

改定日： 2016 年 4 月 1 日

代表取締役社長 吉村 学

#### 4. 環境目標、環境活動計画、環境目標の実績

##### (1) 環境目標

環境への負荷の自己チェックの結果などを踏まえて「環境目標」を以下のとおり定めました。当初基準年度としていた 2013 年度と比較し、車両台数や重機の仕様等が変更されており現場とのかい離が大きくなったため、基準年度及び削減率を現実に沿ったものに変更します。

また取扱量の増減による電気及び化石燃料使用量の変動に対応するため、当該項目において取扱量の単位あたりの目標値を設定することとします。

項 目		2018 年度	2019 年度	2020 年度
電気使用量の削減 [基準：5.610 kwh/t]		△0.01% 5.554 kwh/t	△0.02% 5.497 kwh/t	△0.03% 5.385 kwh/t
化石燃料 使用量の 削減	灯油 [基準：1.735 l/t]	△0.01% 1.718 l/t	△0.02% 1.701 l/t	△0.03% 1.666 l/t
	ガソリン [基準：3.338 l/t]	△0.01% 3.305 l/t	△0.02% 3.272 l/t	△0.03% 3.205 l/t
	軽油 [基準：26.481 l/t]	△0.01% 26.216 l/t	△0.02% 25.951 l/t	△0.03% 25.422 l/t
電気及び化石燃料使用に伴う 二酸化炭素排出量の削減 [基準：136,161kg-CO2]		△1% 134,799kg-CO2	△2% 133,437kg-CO2	△3% 132,076kg-CO2
再資源化率の向上 [基準：72%]		74%	76%	78%
節水 [基準：65 m <sup>3</sup> ]		△1% 64 m <sup>3</sup>	△2% 63 m <sup>3</sup>	△3% 63 m <sup>3</sup>
グリーン購入の推進		3 品目以上	4 品目以上	5 品目以上

(注) 1. 電気使用量削減の基準値は 2017 年度同期間の実績値を同年中間処理量で除した値、化石燃料使用量の削減基準値は 2017 年度実績値を同年収集運搬量で除した値、節水の基準値は 2017 年度実績値とした。

2. 一般廃棄物は、排出量が少ないことから削減目標は設定していないが、分別等の取組は徹底することとしている。

3. 化学物質は使用していない。

(2) 2017 年度の環境目標達成状況

項 目		単 位	目 標 値	実 績	評価
電気使用量の削減		kwh	8,886	9,671	×
化石燃料使用量の削減	灯油	ℓ	4,563	2,749	○
	ガソリン		5,035	5,288	×
	軽油		29,745	41,946	×
電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	107,581	136,161	×
再資源化率の向上		%	70	72	○
節水		m <sup>3</sup>	74	65	○
グリーン購入の推進			2 品目以上	1 品目	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、136,161kg-CO<sub>2</sub> となり、目標値に相当する二酸化炭素排出量 107,581kg-CO<sub>2</sub> に対し、126.5% との結果となった。(購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の 2013 年度の排出係数 0.719kg-CO<sub>2</sub>/kwh を使用した。)

## 5. 主要な環境活動計画の内容と取り組み結果の評価、次年度の取組内容

環境目標の項目毎の環境活動計画の内容と取り組み結果の評価を以下に示します。

### (1) 電気使用量の削減

重機による破碎後に、破碎機を使用しさらに細かく破碎する作業を多く行ったため、目標を達成することができませんでした。引き続き年間目標の達成に向けて、節電の取り組みを徹底するとともに、次年度は目標を達成できるよう努力します。

### (2) 化石燃料使用量の削減

① 化石燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量は、2017 年度実績で全体の 94.89%を占めるため、その削減は重要課題と考えています。

② 灯油を使用する重機の省エネ運転やアイドリングストップの励行に心がけました。灯油仕様重機の稼働率が低下したのに伴い灯油使用量も下がり、結果的に目標を達成することができました。引き続き年間目標の達成に向けて、取り組みを徹底していきます。

③ 営業車のガソリン使用量については、エコドライブを心がけたものの、営業活動の増加に伴い目標を達成できませんでした。今後も注意喚起等を行い年間目標の達成に向けて取り組みを徹底していきます。

④ 収集運搬車両及び重機が使用する軽油については、収集運搬件数の増加や、軽油仕様重機の稼働率増加などに伴い目標を達成できませんでした。今後も年間目標の達成に向けて、取り組みを徹底するとともに、年間目標の達成に向けて取り組みを徹底していきます。

### （３）産業廃棄物再資源化の徹底

弊社の取り扱う主な産業廃棄物は、廃プラスチック類と金属くずで、これらは自社処分場で分別後再資源化しています。そのほかの廃棄物についても、分別の徹底により再資源化に努めています。

また再資源化出荷先の新規開拓により最終的な再資源化率を押し上げる結果となりました。引き続き分別精度を上げ、再資源化率の向上に努めます。

### （４）節水

業務全般にわたる節水運動を展開した結果、目標を達成できました。今後も年間目標の達成に向けて、取り組みを徹底していきます。

### （５）グリーン購入の推進

目標値は達成しました。引き続きグリーン購入に取り組むこととします。

### （６）その他の活動

会社周辺の清掃活動の実施や、一般社団法人広島県資源循環協会の取組への参加などをしております。

また弊社敷地内への巣箱の設置や、営巣した生物の観察等(末尾別紙)も行っております。



協会安全大会への参加

## 6. 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制は廃棄物処理法です。遵守評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去３年間、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

取組状況についての方向性については問題なしと考えるが、直近の処理量、収集運搬量に見合った目標値の設定が必要。

今後さらに受入量の増加が見込まれるため、それに見合う設備投資が必要になると思われる。また、今後の廃棄物処理およびリサイクル率の向上に関しては、排出事業者ともより緊密に協力し合い、適正に処理していくこととする。

## 8. 廃棄物処理業に関する情報

### (1) 許可の内容

#### ①一般廃棄物

なし

#### ②産業廃棄物

##### a 許可品目

許可品目	収集運搬業(上段:許可年月日 下段:有効年月日)						処分業
	広島市	広島県	山口県	岡山県	島根県	鳥取県	広島市
	2018/10/12 2025/10/11	2013/11/24 2018/11/23	2014/10/13 2019/10/12	2018/10/01 2025/09/30	2018/09/05 2025/09/04	2018/09/01 2025/08/31	2016/10/27 2023/10/26
燃え殻	○*1	○	○				
汚泥	○*1	○	○	○	○	○	
廃油	○	○	○	○	○	○	
廃酸	○*1	○	○				
廃アルカリ	○*1	○	○				
廃プラ類	○	○	○	○	○	○	○
紙くず	○	○	○	○	○	○	○
木くず	○	○	○	○	○	○	○
繊維くず	○	○	○	○	○	○	○
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	○
金属くず	○	○	○	○	○	○	○
ガラスくず等	○	○	○	○	○	○	○
がれき類	○	○	○	○	○	○	

\*1 積み替え保管を含まない

b 許可番号

管轄	許可の種類	許可番号
広島市	産業廃棄物収集運搬業	07310010149
	産業廃棄物中間処理業	07320010149
広島県	産業廃棄物収集運搬業	3409010149
山口県	産業廃棄物収集運搬業	03500010149
岡山県	産業廃棄物収集運搬業	03301010149
島根県	産業廃棄物収集運搬業	3200010149
鳥取県	産業廃棄物収集運搬業	03104010149

c 事業の区分

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物中間処理業 中間処理(破碎)

(2) 施設等の状況

①設備概要

車両台数

車種	台数	備 考
8t脱着装置付コンテナ車	2 台	
8tクレーン付ダンプ車	1 台	
4tクレーン付平ボデー車	0 台	17年度減車
4tダンプ車	0 台	17年度減車
3t脱着装置付コンテナ車	1 台	
3tパワーゲート車	1 台	
1.5tパワーゲート車	1 台	
合計	8 台	なお別途営業車両1台あり

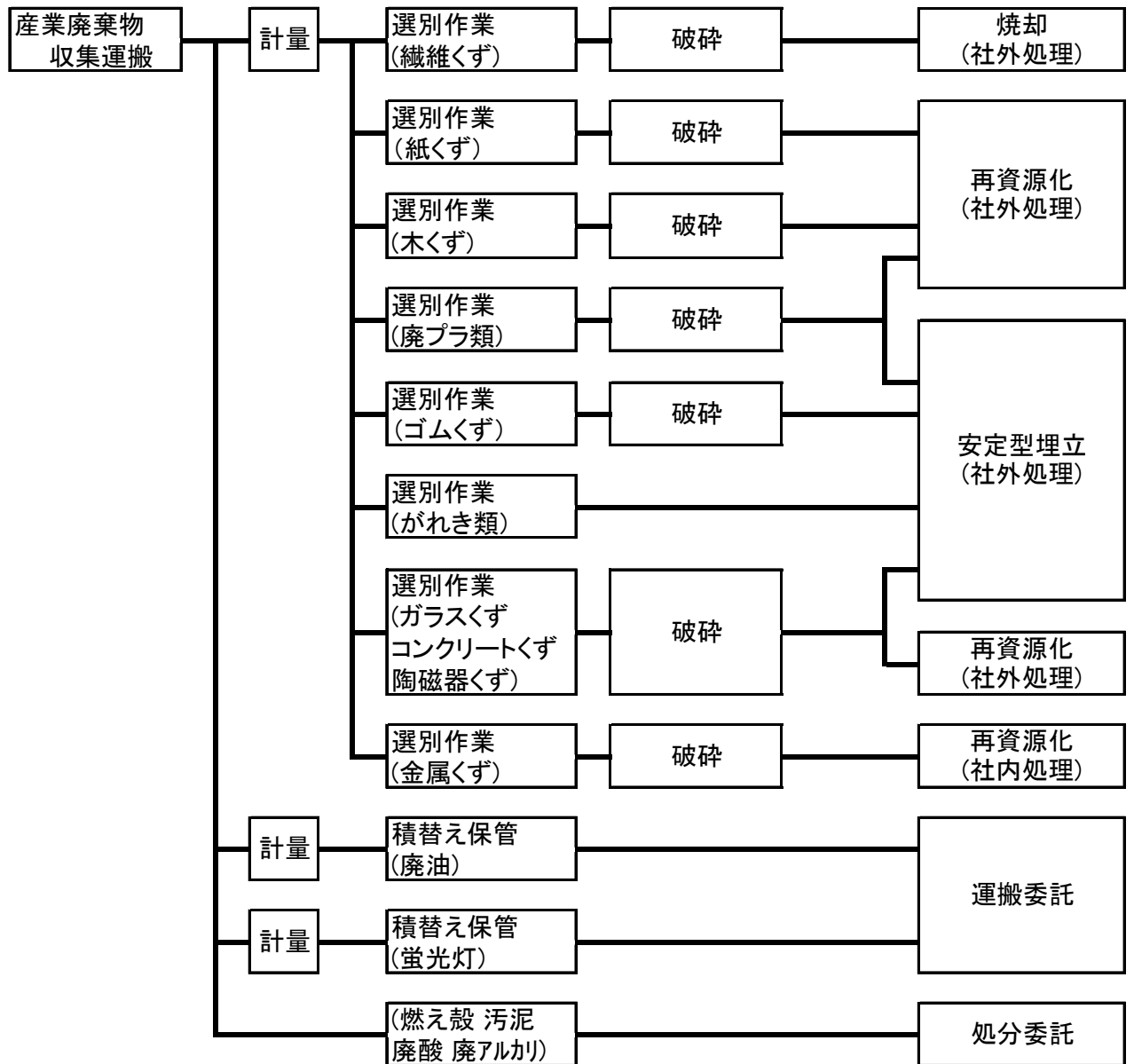
主要設備

名称	台数	備考
2軸せん断破碎機	1 基	
40tトラックスケール	1 基	
2tフォークリフト	3 台	
0.25m3 バックホウ	3 台	16年度 1台追加

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
ヨシムラ環境整備(株)	64.15 m <sup>2</sup>	1.8 m	

処理工程図



(注) 処理能力は、廃プラスチック類 4.72t/日、紙くず 4.08t/日、木くず 4.72t/日、繊維くず 2.72t/日、ゴムくず 4.4t/日、金属くず 4.96t/日、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず 4.4t/日(8H)

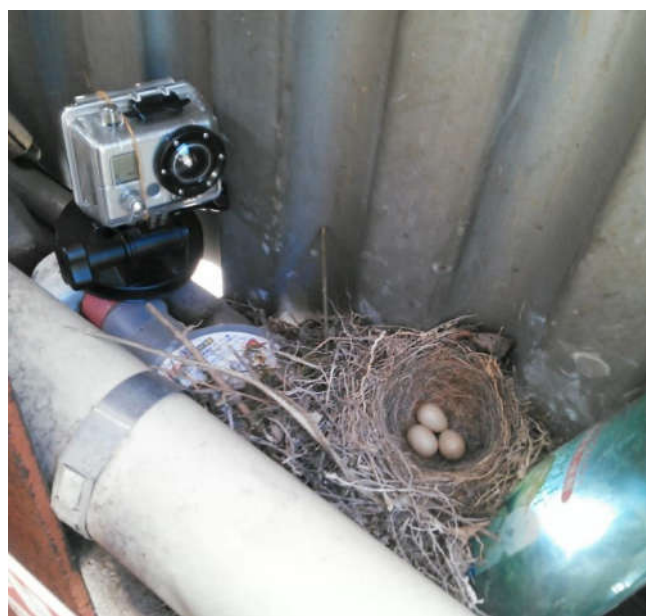
(3) 処理実績

2017年度（2017年10月 ～2018年9月）				
処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
(i)収集運搬	コンクリートくず		2.53	
	廃油		24.2	
	金属くず		748.436	
	ガラス陶磁器くず		4.19	
	紙くず		23.91	
	廃プラ類		640.938	
	木くず		102.32	
	繊維くず		0	
	ゴムくず		0	
	がれき類		33.3	
	燃えがら		0	
	汚泥		0	
	廃酸		0	
	廃アルカリ		0.89	
	石綿含有廃棄物		0.1	
	水銀使用製品産業廃棄物		3.3155	
収集運搬量合計			1584.1295	
(ii)中間処理	コンクリートくず	破砕	14.761	
	金属くず	破砕	825.3264	
	紙くず	破砕	5.4365	
	廃プラ類	破砕	697.572	
	木くず	破砕	181.363	
	繊維くず		0	
	ゴムくず		0	
	うち 再資源化等	金属くず		825.3264
		廃プラ類		233.05
		コンクリートくず		2
紙くず			5.4365	
	木くず		181.363	
再資源化等量小計			1247.1759	
中間処理合計			1724.4589	
(iii)最終処分			0	
			0	
			0	
最終処分量合計			0	
(iv)中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃プラ類	464.522	
		コンクリートくず	12.761	
		ゴムくず	0	
		繊維くず	0	
	再資源化等	金属くず	825.3264	
		廃プラ類	233.05	
		コンクリートくず	2	
		紙くず	5.4365	
		木くず	181.363	
		再資源化等量小計		1247.1759
中間処理後処分量合計			1724.4589	

[別紙]



6月6日 事務所玄関前に営巢



6月8日 産卵



6月23日 孵化